

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和4年9月30日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

家庭との連携

副校長 幸保 陽子

今年度から2学期制となり、前期が終わりに近づいてきました。どの学年でも、子どもたち一人ひとりが、今までの学習や生活を振り返り、自分の成長を客観的に見つめています。このような中、保護者の皆様には、個人面談を通して、子どもたちの日頃の様子や学習の状況等、成長の様子を共有させていただき、感謝申し上げます。

子どもは、たくさんの人とかかわり、様々な経験を積むことによって成長していきます。その時の状況に応じて、考え判断して行動し、成長していくのです。だからこそ、学校だけではなく、その姿を学校と保護者で共有し、より良い成長につなげたいと考えています。教職員の指導・支援の方向性と保護者の方向性が一致していれば、子どもたちは経験の中で何が良いのかを理解し、納得して成長していきます。もちろん人の思いや考え方は様々。大人も様々です。多様性の中で成長できることは学校の魅力の一つではありますが、根本の指導・支援のところでは、引き続き、学校と保護者が協力して、大切なことを子どもたちに伝えていきたいです。

学校でこの時期、大切にしたいことは、お子さんの今を認め、頑張りを認め、成長を認めて自尊感情を育てることです。「自分っていいな」という自尊感情を育みたいと思っています。これは、周囲から自分の努力が認められたり、そばで誰かが一緒に喜んだり励ましたりしてくれたりする経験、そうした経験を一つひとつ積み重ねていくことが大切なのではないかと考えています。

朝、1年生の教室の前を通ると、教室から子供たちの明るい歌声がきこえてきます。「まほうのこ
とば」という歌を歌っているのです。とても素敵な歌詞ですので、紹介します。

感じたままに書いたけど なかなか自信がもてないよ
そんなときあの子が駆け寄り 魔法の言葉をくれたんだ
それいいね!それいいね!...なんだか勇気がわいてきた
みんなと違って あの子が恥ずかしそうにしているときに
ぼくは好きなどこをみつけて 魔法の言葉をかけたんだ
それいいね!それいいね! あの子に花が咲いたんだ
あの子の言葉がぼくをかえる ぼくの言葉であの子がかわる
それいいね!それいいね! 魔法の言葉で...
ぼくらは自分のことが好きになる (一部省略)

私たちも子どもに寄り添い、魔法の言葉を大切にしつつ、家庭と学校が両輪となって健やかな成長を育ていけるよう、これからもつとめて参りたいと思います。